

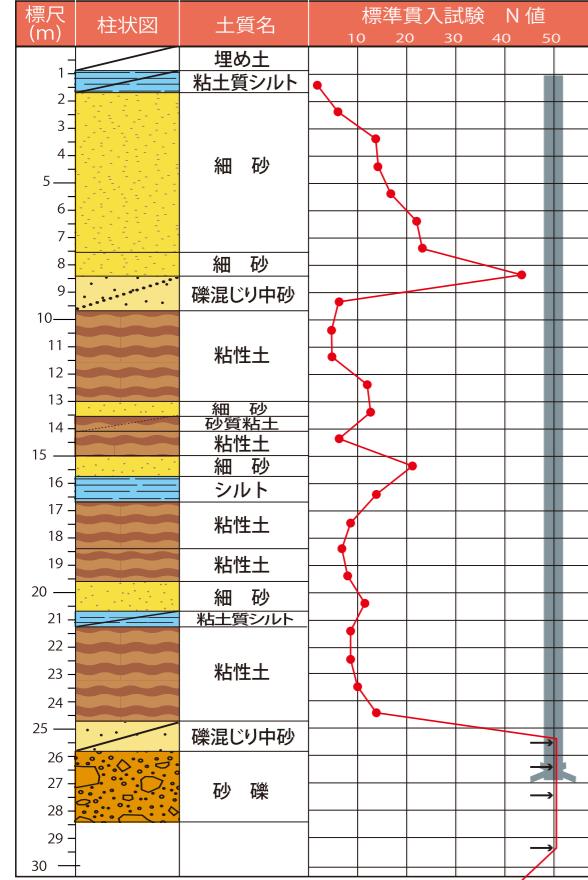
## 北陸新幹線 信通機器室・配電所新設工事

### 杭打機を低く改造して高架下での作業を実施

北陸新幹線の某駅近くの高架下に、信通機器室、配電所を8棟施工しました。信通機器室は、列車の安全運行を守る信号通信機器の設置室。高架下の高さ制限があるため、リーダー（杭打機）を短尺仕様に改造し、H=5.3mで施工しました。この現場では三誠の施工管理者が元請様の安全大会で表彰されるという嬉しい出来事がありました。現在も、北陸新幹線高架下の工事は継続中です。



ボーリング柱状図



構造物概要		G-ECS パイル工法	
名称	北陸新幹線 信通機器室・配電所新設工事		
施工場所	福井県福井市	杭の種類	φ216.3、φ267.4
用途	信通機器室・配電所	杭長	26m
構造	S造1階	本数	信通機器室：130本 配電所：50本
設計支持力	430.0kN ~ 640.0kN	杭先端深度	GL-26.9m
先端N値	50	施工年月日	2020年1~3月(52日間)

株式会社 三 誠  
SANSEI INC.

本社  
TEL: 03-3551-0211 FAX: 03-3551-0217  
ホームページ <https://sansei-inc.co.jp/> メールアドレス [info@sansei-inc.co.jp](mailto:info@sansei-inc.co.jp)  
〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル9階 編集・発行 / 株式会社 三誠 SANSEI NEWS 事務局

お問い合わせは、メール [info@sansei-inc.co.jp](mailto:info@sansei-inc.co.jp)  
または、FAX 03-3551-0217 (担当 営業管理課 小林) まで

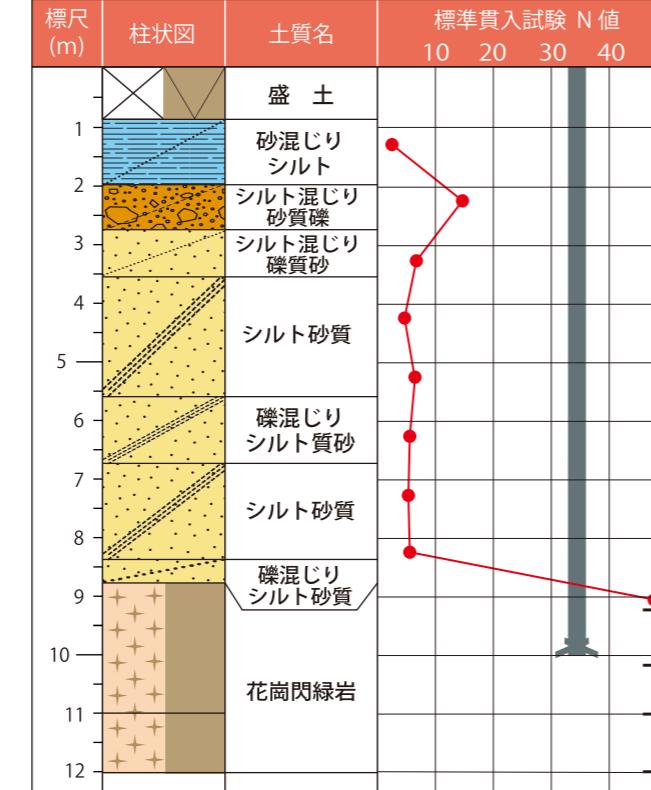
## 山口県下松市 幼稚園新築工事

### 杭柱一体工法が生みだすメリットが高評価でWin-Win

遊戯室の空間確保のため、広いスパンの計画でした。杭柱一体のECS-TP工法には工夫が必要でしたが、数多くのメリットがありました。工期の短縮のメリットは施工管理の軽減、代替駐車場確保期間の短縮、園の関係者様のストレス軽減につながりました。また、コンクリート基礎の施工を必要としないので、トラックの搬出入回数も激減し、園児を始め、関係者様の安全確保にも有効でした。



ボーリング柱状図



構造物概要		ECS-TP 工法	
名称	山口県下松市 幼稚園新築工事		
施工場所	山口県下松市	杭の種類	φ267.4、φ355.6
用途	幼稚園	杭長	10m
構造	S造2階	本数	25本
設計支持力	601.0kN、881.0kN	杭先端深度	GL-10.3m
先端N値	34	施工年月日	2019年10~11月(7日間)

# SANSEI NEWS

編集・発行人 株式会社三誠 SANSEI NEWS 事務局 本社〒104-0033 東京都中央区新川1-8-8 アクロス新川ビル9階  
TEL: 03-3551-0211 FAX: 03-3551-0217 ホームページ <https://www.sansei-inc.co.jp>

2022 January Vol.36

アフターコロナ時代を見据え  
新たな決意で臨みます

明けましておめでとうございます

旧年中は格別なるお引き立てを

賜り、心より御礼申し上げます。

昨年は、昨年から引き続いた新

型コロナ禍が沈静化せず、述べ200日を超える年3回の緊急事

態宣言の中での生活を強いられ、まさに私達を取り巻く環境も生活も

すっかり様変わりした1年でした。

関係各社様におかれましては、謹んでお見舞い申し上げます。

この1月末迄の弊社第27期は、

【新中期四か年計画】Awake the Future(最終年度29期目標200億円)の2ヵ年目であり、売上175億円を目指して参りました。この

環境の下、かなりの苦戦を予想しておりましたが、弊社をお引き立ていただいているお客様のおかげで、今年度は172億円強の売上見込みとなりております。

単年度目標175億円には若干及びませんでしたが、前年度160億円から今年度も10.8%の增收を果たすことができそうです。

この結果はひとえに、常に応援してくれてくださっているお客様と弊社の協力会社各社様の力強いご支援の賜

株式会社三誠 代表取締役社長 丹羽 伸治  
物であり、衷心より感謝申し上げます。

今年も皆様と共に、小中径回転鋼管杭の業界の発展の為、全力を尽くして仕事に取り組んで行きます。

昨年は感染症と共に、材料価格の高騰に苦しめられた1年でした。

コロナ禍により原料の供給が滞つたことに端を発し、回復した国々からの需要が集中したことで、製鋼原材価格の急騰が始まりました。日々追う毎に、供給量不足も深刻化し、鉄鋼製品は1年で1.5倍に跳ね上がりました。

「市況は市場が作る」ものですが、この過熱した価格は、私達の業界や鉄鋼業界に影響を及ぼして来るこ

とを憂いでおります。

これまで小中径回転鋼管杭の市場は、その工法の利便性や、環境負荷が低い製品という利点で拡大して参りましたが、この状況が続くようであれば、これまでの努力が水泡に帰すとの危機感を募らせております。

社長就任以来開発本部とともに「相乗効果を狙った他業種・他産業

との協業」を進めております。弊社がもう2段、3段と成長するには單体でもがいていても、道は拓けないとの考え方です。

昨年はその取り組みに加え、脱炭素社会の構築を推進している企業とのコラボを推し進めました。再生可能エネルギーとしての太陽光・風力の変電所では、大手エネルギー関連企業様への提案から施工まで

エネルギー大革命時代での大いなる社会貢献を目指す

との協業」を進めています。弊社がもう2段、3段と成長するには單体でもがいていても、道は拓けないとの考え方です。

三誠ホールディングスには、弊社三誠をはじめ、(株)三誠エンジニアリングと(株)三誠AIR断震システムの兄弟会社があります。三誠エンジニアリングは構造級建築士を3名有し、三誠にも工学博士と2名の構造

二級建築士がいます。

杭は勿論のこと、上部構造を含めた二貫的な技術フォローを万全にして行き、建設業界に於ける存在感をグレードアップ全体で高めて参ります。

三誠の経営理念に則り、何事にも積極果敢に挑戦・行動することを

皆様にお約束しまして、新たな一年を虎のことく猛進して参ります。

今年もECSパイル並びに弊社

員一同を、ご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

本年4月1日に入社予定の新卒新入社員3名の、内定式を11月1日に本社アクロス新川ビルにて行いました。

販売店会や三誠セミナーなどの対面でのイベントは、2年連続で中止にしましたが緊急事態宣言が解除されたこと

で、対面での内定式を開くことができました。式は、社長の挨拶で始まり、会長の挨拶、内定学生の自己紹介と続きその後参加役員と学生の懇談で閉会しました。

コロナ禍での就活という、学生にとっても当社にとっても殆ど経験のない状況でしたが、その中で質の高いやる気のある3名の入社が内定。緊急事態宣言の影響で1ヶ月遅れの式となりましたが、3名とも元気な表情で、4月から的新社会人としての決意を表明してくれました。

本年4月1

